Lesson 10　　敵と対戦して　～国を変えた試合～

Part 3

８ その雰囲気は，チームが次々に勝利するにつれて，次第に変わっていった。ワールドカップの前はラグビーのルールを知りさえしなかった黒人が，白人とラグビーをすることに興味を示すようになった。スプリングボクスがいいプレーをすればするほど，多くの黒人がラグビーをやり始めた。ついには国全体が試合の行方を追い，スプリングボクスを応援していた。ますます多くの人々が，新しい国旗を振り始めた。それは，アパルトヘイトの本当の終わりを意味していた。

９ チームはついに，決勝戦でニュージーランドのオールブラックスと対戦した。試合が始まる５分前，ネルソン・マンデラが選手たちと握手をしに競技場に出てきた。彼は，スプリングボクスの緑の帽子とユニフォームを着ていた。彼を見たとき，人々はしんと静まりかえった。それから詠唱が始まった。最初は小さい声だったが，声はすぐに大きく激しくなった。白人の群衆が１つの国として，「ネル・ソン！　ネル・ソン！」と何度も何度も繰り返し詠唱し始めたのだ。それは魔法のような瞬間だった。